

(4) 京都メカニズムなどの活用

CO₂排出抑制目標達成のための補完的措置として、京都メカニズムなどの活用にも取り組んでいます。

a 京都メカニズムの活用

地球規模での温暖化防止に貢献するため、京都メカニズムを活用し、世界銀行炭素基金 (PCF)、日本温暖化ガス削減基金 (JGRF) の2つのファンドへの出資や、個別プロジェクトからのCO₂排出クレジットの購入に取り組んでいます。

ファンドへの出資

ファンドによる事業で得られた温室効果ガスの削減量を、出資比率に応じて取得できます。

世界銀行炭素基金 (PCF)

- ・資金規模：1億8,000万ドル (当社は800万ドル出資)
- ・出資者：6か国政府及び17企業

日本温暖化ガス削減基金 (JGRF)

- ・資金規模：1億4,150万ドル (当社は300万ドル出資)
- ・出資者：日本政策投資銀行、国際協力銀行のほか、29の日本企業



詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P13参照) 京都メカニズムの概要

b 排出量取引の国内統合市場の試行的実施への参加

2008年度から開始された国内排出量取引の試行的実施に参加しています。参加にあたっては、当社の目標である「2008～2012年度平均の販売電力量あたりのCO₂排出量を1990年度実績比で20%程度低減 (0.348kg-CO₂/kWh程度にまで低減)」に合わせ、取組みを進めています。

- 〔目標設定年度：2008～2012年度の各年度〕
- 〔目標設定値：0.348kg-CO₂/kWh程度〕

なお、試行的実施の中で行われている国内クレジット制度についても、7件の国内排出削減事業にCO₂排出クレジットの買手として参加しています。

国内クレジット制度への当社の参加状況* (2011年3月末現在)

事業名	年間削減量 (トン-CO ₂ /年)	概要
「清滝」 排出削減事業 〔福岡県〕	約 740	温泉施設における加温用ボイラー燃料転換
「べんがら村」 排出削減事業 〔福岡県〕	約 420	同上
「北山カントリー」 排出削減事業 〔佐賀県〕	約 270	ゴルフ場におけるヒートポンプ導入
「サンホテル日田」 排出削減事業 〔大分県〕	約 80	ホテルにおけるヒートポンプ導入
「JA宮崎」 排出削減事業 (08、09年度導入分) 〔宮崎県〕	約 630 約 730	農業用ハウスにおけるヒートポンプ導入
「弥生の湯」 排出削減事業 〔熊本県〕	約 370	温泉施設におけるヒートポンプ導入

*：本事業における当社の参加形態はクレジットの買手であり、設備の導入資金の提供や、共同事業者として資本参加するものではない。

(5) 海外との技術交流などを通じたCO₂排出抑制

国際協力機構 (JICA) 等の機関を通じた専門家の派遣・研修生の受入れや、海外の電気事業者との情報交換、海外発電事業、海外コンサルティング事業を展開しています。

a 海外におけるIPP*事業や

省エネ・環境関連コンサルティング事業などの展開

成長するアジアを中心に、当社の技術・ノウハウを活かした高効率火力、再生可能エネルギーによる発電事業や省エネコンサルティング事業を推進しています。IPP事業では、天然ガスを燃料とした高効率の火力発電所を建設し、CO₂排出を抑制するなど、グローバルな視点で地球温暖化対策に貢献しています。

*：Independent Power Producer (独立系発電事業者) の略。

b クリーン開発と気候に関する

アジア太平洋パートナーシップ

(APP: Asia Pacific Partnership) への参加

APPは、CO₂排出大国である中国、米国、インドをはじめ、日本、豪州、カナダ、韓国の計7か国が参加する地球温暖化防止の枠組みであり、世界的にもその成果が目目されています。この中で電力業界は、経年化が進んだ石炭火力の熱効率の維持・向上を目指したピアレビュー活動 (専門家による相互評価) を展開しており、当社はこれまでに開催されたすべてのピアレビューに延べ13人の社員を派遣し、火力発電に関する技術・ノウハウを提供しています。なお、このAPP活動は、2011年4月をもって終了し、今後、「エネルギー効率向上に関する国際パートナーシップ (GSEP: Global Superior Energy Performance Partnership)」へ受け継がれる予定です。

海外での事業展開 (2011年3月末現在)

